

## 平成24年度第1回花巻市社会教育委員会議会議録

平成24年6月22日（金）

出席委員（14名）

赤沼範高委員、石橋恕篤委員、市川浜委員、伊藤晴二委員、小原昭男委員、尾美裕功委員、紺野佳子委員、佐々木悦子委員、佐々木繁夫委員、佐藤康雄委員、高橋カヨ子委員、千葉恵子委員、千葉緑委員、門馬優子委員

欠席委員（6名）

遠藤紀宏委員、菊池敦子委員、小菅公夫委員、佐藤彰博委員、福盛田弘委員  
細川泰史委員

説明のために出席した者

菊池保守まちづくり部長、佐藤加津三生涯学習課長、佐藤正眞地域づくり課長、藤田哲司スポーツ振興課長、小林忠久市民協働参画課長、藤原睦国際交流室次長、太田健小中学校課主幹兼課長補佐、小田中清子就学養育課長補佐、中村良幸文化財課長

○会議に先立ち菊池保守まちづくり部長から委嘱状を交付。

午前10時03分 開 会

### 1 開 会

### 2 あいさつ 菊池保守まちづくり部長

### 3 議長・副議長選出

○佐藤加津三生涯学習課長 議長、副議長の選出につきましては、花巻市社会教育委員会議運営規則第6条によりまして、委員の互選により議長、副議長を置くこととされております。この場で互選いただくということでございますが、皆さんから無ければ、前年に引き続き議長に石橋委員、副議長に市川委員をお願いしたいと考えております。

（「異議なし。」の声あり。）

○佐藤加津三生涯学習課長 異議がないということですので、そのようにお願いします。それでは、議長席、副議長席にお着きください。

（石橋恕篤議長 議長席に着席、市川浜副議長 副議長席に着席 それぞれ就任あいさつ）

### 4 議 題

○石橋恕篤議長 議事に入る前に委員の皆さんにお願いがあります。これから検討に入る資料の確認ですが、お手元には資料6まで配布されております。確認をお願いします。

それから、記録の都合上、マイクを使用させていただくようにお願いします。また、これも

記録の問題ですが、前の方の発言が終了してから、次の発言をお願いします。

それでは、議事に入ります。

平成23年度花巻市生涯学習振興計画の進捗状況についてとなっております。説明をお願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長 まず、ただいまの議長のお話につけ加えさせていただきますが、この会議の議事録は公開することとなっておりますので、ぜひマイクをお使いいただきたいと思っております。

○佐藤加津三生涯学習課長 【資料説明】(1)花巻市生涯学習振興計画の進捗状況について

○石橋恕篤議長 ご質問のある方は、手を挙げて発言いただきたいと思っております。また、発言の際はマイクを使用されるようお願いいたします。

千葉緑委員。

○千葉緑委員 資料がとても見やすくなっていて、事前に配っていただいてありがたかったです。

12番と13番の計画ですが、10人以上の方で構成している団体に講師を派遣しているようですが、一つの団体で何回利用できるのか教えてください。

2ページ25番の国際化推進事業の24年度以降の見通しで国際フェア1,000人になっているところの内容を知りたいです。

3ページ33番の少年センター事業の実績が23年度は342人で減っていますが、目標で27年度は490人に増えているのは何かあったのでしょうか。

2ページ19番の雇用安定推進事業で23年度が85事業所あったのが、27年度の目標が50事業所と減っていますが、説明をお願いします。

○石橋恕篤議長 ご質問が4項目ありましたが、説明をお願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長 生涯学習課からは、生涯学習講師派遣事業とふれあい出前講座開設事業でございますが、生涯学習講師派遣事業につきましては、講師の謝金を市が負担するということになっておりまして、1団体3回までとなっております。

ふれあい出前講座につきましては、特に回数の制限は設けていません。

19番の雇用安定推進事業及び33番の少年センター事業ですが、27年度の目標は今年度定めたものではありません。19年度計画策定時の目標でありますので、19年度より雇用安定推進事業は増えている、補導については減っているということです。それぞれ取り組みを進めた結果、目標を上回っているという状況です。

○藤原睦国際交流室次長 25番の国際化推進事業の国際フェアのご質問にお答えいたします。花巻市では国際都市推進事業を新たに設けまして、外国の方が住みやすいとか、気軽に訪れやすいまち、いわゆる国際都市を目指そうということで、様々な環境整備や海外への発信などを行うため、外国人スタッフ雇用の準備を進めております。国際フェアにつきましては、12月に花巻大博覧会がありますが、非常に大きなイベントですので、それにタイアップして盛り上げようかということでしたが、埋没してしまう可能性もありますし、個別の大きなイベントということで、1月26日、27日の土日に花巻市交流会館を会場に行おうというものです。イメージですが、市内に定住している方の出身地ごとの料理とか民族舞踊、国際シンポジウム等を考えております。市内の国際関係団体の方々から委員を募りまして、

実行委員会を構成し、様々な国際化に対する意見を集約中です。今月29日に2回目の会議を開き、ご意見を伺いながら実施させていただきたいと思っています。この1,000人という数字は特に根拠がある数値ではなく、たくさんの方に来ていただきたいというものです。なお、8月か9月頃には具体的な概要が出ますので、広報や国際交流協会のホームページを通じて周知したいと思います。広報は集客が見込める12月に掲載となるかもしれませんが、皆さんに足を運んでいただくように、内容のある国際フェアを展開していきたいと考えています。

○石橋恕篤議長 千葉委員、よろしいですか。

そのほかにご質問の方、どうぞ。伊藤委員。

○伊藤晴二委員 3点お願いします。

1 ページ5番の豊かな学び推進事業の23年度事業実施状況の中で各市内小中学校のことが書かれています。文化・伝統探求という項目がありますが、何校でこういった内容に取り組んでいるのかお知らせください。

5 ページ50番の文化財保護活用事業について、文化財説明版・標柱の設置6件とありますが、文化財説明版を立てる場合の基準や昨年度はどんなことで説明版・標柱を立てたのか教えていただきたいです。

次に、この表にはありませんが、賢治まちづくり課ができて、私も大変注目していますが、まだできたばかりで具体的な方向性や内容について私はまだ分かっておりませんので、今の段階で賢治まちづくり課がどんなことを行うのか教えてください。

○石橋恕篤議長 伊藤委員から3項目の質問でしたが、担当者から説明をお願いします。

○太田健小中学校課主幹兼課長補佐 文化・伝統探求について具体的に何を行っているかということですが、文化探求については、地域の文化について総合的な学習の時間に調べたり、実際に体験したりする活動を行っております。また、伝統探求については、神楽等の伝統芸能を総合的な学習の時間に体験する活動を行っております。何校の学校が何をどのくらいということについての具体的な数字は本日持ち合わせておりません。

○中村良幸文化財課長 50番の文化財保護活用の説明板・標柱の設置についてですが、実は現在ほとんどが新設ではなく、立て替えとなっています。合併前に立てられた説明版・標柱は昭和年代に立てられたものが多く、倒れたり朽ちたりしている部分がありますので、その立て替えを主に行っています。昨年度の新設はありません。

本来的には指定文化財を中心として説明板を立てていますが、それ以外にも地域で重要と思われるものに対しては、要望等がありましたら、課で検討して立てているという状況です。

○菊池保守まちづくり部 私から賢治まちづくり課についてお答えさせていただきます。

スタッフは5名です。設立の趣旨は、市長から賢治さんを生かしたまちづくりをダイナミックに進めたいということで、賢治まちづくり委員会を市民の手弁当で立ち上げました。そして、賢治まちづくり委員会から提言を受けたコンセプトは「賢治さんの香りあふれるまちづくり」ということです。これに基づいて、花巻を訪れた方が賢治さんを感じることができる、あるいは触れることができるということを重要な要素としてまちづくりに取り組もうということで4月から賢治まちづくり課を設置しました。

具体的に申し上げますと、賢治関連団体も20近い団体がありまして、今までばらばらに

情報発信していたものを賢治まちづくり課が全部調整し、窓口を一本にして発信しようということで、年間を通じた賢治関連団体のイベント等をホームページに掲載しておりますし、年間を通じたイベントカレンダーを作成中です。そして、賢治キャラクターも含めて賢治まちづくり委員会と協議をしているところです。

長期的な構想としては、賢治ゾーンの整備検討ということで、宮沢賢治記念館、イーハトーブ館、童話村或いは博物館等もございますが、それらを含めて一帯の整備計画を作ろう、一番大事なのは、旧1市3町それぞれの地域に賢治さんの足跡があり、様々な取り組みを行っておりますが、そういうものを含めて市全体が賢治さんの香りあふれる情報発信なり様々な活動を支援していくということで取り組んでおります。

グスコーブドリの伝記が全国で一斉に上映されますが、本市でも上映するべく実行委員会を立ち上げて関係でスタッフとして上映日程等調整しておりますし、花巻市が取り組む様々なイベントについても賢治さんの香りが感じられるような工夫も行うということで、統一した考えで進めております。

○石橋恕篤議長 伊藤委員よろしいですか。

では、その他に質問の方。門馬委員。

○門馬優子委員 家庭教育学級の開催が19年度の24%から微増していると思いますが、全体から見て参加者のパーセンテージが低いという印象ですが、家庭教育学級のテーマはどうなっていますか。

○石橋恕篤議長 今のご質問に対して、お願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長 生涯学習課からお答えいたします。

家庭教育講座につきましては、幼稚園、保育園、小中学校でそれぞれの幼稚園、保育園、学校でテーマを自分たちで決めていただきまして、生涯学習課で講師に係る経費を負担する事業です。

目標といたしまして、全ての幼稚園、保育園、小中学校で1回開催していただきたいということで、お願いしておりますが、実施していただけないところがありまして、毎年こちらからお願いしているところでありまして、小中学校課と連名で啓発しながら取り組んでいたことをお願いしておりますが、現在のところこのような数字となっております。

○石橋恕篤議長 門馬委員、よろしいですか。

どうぞ。

○市川浜副議長 この振興計画は8年間の計画で、現在4年間経過し、この後まだ4年あるわけですが、先ほどご指摘があるように、目標値をクリアしたりかなり数値が違ったりしています。必要に応じて計画の見直しを行うということになってはいますが、この見直しについてはどのように考えていますか。

○石橋恕篤議長 どうぞ。

○佐藤加津三生涯学習課長 生涯学習課からお答えいたします。

この生涯学習振興計画につきましては、総合計画に基づくそれぞれの計画を再編したような形とお話しいたしましたが、現在総合計画そのものの見直しを行っております。総合計画につきましても5年経過いたしまして、社会情勢と大分合わなくなっているところがありますので、その中で課題を解決する事業が出てまいります。それが出た時点で生涯学習計画に

つきましても再編する形になろうかと思えます。

現在のところ、かなり数値が離れているところもありますが、総合計画の見直しに併せてこの計画も見直すことで考えています。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

ほかにご質問ありませんか。無ければ、私から質問させていただきます。

進捗状況ということですので、全体的にはどの程度の進捗状況になっているのでしょうか。完全に行われているとか、進み具合についてお話しいただければと思います。

○佐藤加津三生涯学習課長 生涯学習課からお答えいたします。

一つひとつの事業につきまして、それぞれ目標を定めて担当が努力しておりますが、市民アンケートの結果から花巻市における生涯学習或いは芸術文化に親しんでいる市民の割合は高いと考えておりますが、特に生涯学習につきましては、現役世代といわれる20代から50代の方々の割合があまり高くありません。シニア世代の割合が非常に高いので、これからの課題は、そういった世代の参加と考えておりますが、景気の低迷等もありまして、生活に必需ではない部分の支出或いは活動が抑えられている現状ですので、そういったところも課題として捉えながら取り組んでいきます。

○石橋恕篤議長 いろいろ数字が出ておりましたので、数字を挙げていただければと思います。

特に委員からご質問等がなければ次の議題に進めさせていただきます。よろしいですか。

(「異議なし。」の声あり。)

○石橋恕篤議長 それでは、平成24年度花巻市の生涯学習事業計画について、ご説明をお願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長、佐藤正眞地域づくり課長、藤田哲司スポーツ振興課長、小林忠久市民協働参画課長、藤原睦国際交流室次長、小田中清子就学養育課長補佐、中村良幸文化財課長、太田健小中学校課主幹兼課長補佐 【資料説明】(2)平成24年度花巻市の生涯学習事業計画について

○石橋恕篤議長 では、今ご報告いただきましたが、各委員からご質問を承りたいと思いません。伊藤委員。

○伊藤晴二委員 今の説明を昨年と何かが違うと思って聞いていました。どこが違うのかと思って昨年の社会教育委員会議の資料を見ましたら、各課ごとに基本方針と主要施策と事業計画が載っていて、何に基づいてこういう狙いで、こういう事業を行うということがかなり詳しく書いてあります。

きょうの説明を聞きますと、ほとんど事業です。我々社会教育委員として何を提言すればいいのか、もっと総合的な視点で見る必要があるのではないかと思います。事業について良し悪しではなく、基本的な方針に基づいた、或いは市民のニーズに応えたものは何かと言わなければならないと思います。

事業だけの提案になると、そうですかとなってしまいます。基本的に去年と何が大きく変わったのかということを知りたいと思います。

○石橋恕篤議長 昨年との違いについて、基本的な認識を聞きたいという質問です。

○佐藤加津三生涯学習課長 昨年度は確かに平成23年度の方針と施策ということで資料を

付けておりますが、内容につきましては生涯学習振興計画とはほぼ一致しておりますし、24年度におきまして、総合計画の見直し作業に入るといこともございました。つまり、生涯学習振興計画の内容、それに大きくずれたところが無いということ、昨年までの資料がわかりにくいこと、ご意見を伺うという目的でありましたし、考え方につきましては総合計画の見直しの中で市民の意見も伺うことから、このような資料にまとめ直したということです。

それぞれ年度の方針として出しておりましたので、ご意見として今後生かしていきたいと思っております。

○石橋恕篤議長 伊藤委員、今の回答でよろしいですか。

ほかに。どうぞ。

○佐々木繁夫委員 伊藤委員と同じことを思っていました、そこは省略して3点伺います。

小中学生にもっといろいろな学ぶ機会の提供がほしいと思っております。花巻は高齢者のシニア大学は昔から盛んでしたし、最近はこども課、就学前教育に力を入れて、さすがだなと思っております。そのシニア大学の小中学生版があればいいと思っております。例えば気仙沼とか全国各地でやっていますが、市内の歴史、文化、市の行政の様子などを学ぶ機会があればいいと思っております。

4ページの生涯スポーツの推進の中で早起きマラソンとスポーツ少年団の団員を増やすということがありましたが、それはそのとおりだと思いますが、生涯スポーツということ考えたならば、参加者数も大事、率も大事、或いは世代間、年代で陥没しているところがあるのではないかと危惧もします。そこで、総合型地域スポーツクラブが笹間でできるようですが、総合型地域スポーツクラブの支援ではなく、もっと強く入ってもいいのではないかと考えています。確か、5、6年前も中央から講師を呼びましたが、更に強い指導があればいいと思っております。市がいろいろな事業を中心になって進めるのはもちろん大事ですが、地域活動を仕掛ける団体を育てることが大事だと考えておりますので、参加者、率ももちろん大事ですが、各世代間の陥没をどの程度捉えているかということを考えながら、地域総合型のスポーツクラブにもう少し力を入れてもいいと思っております。

それと関連して、生涯学習推進員或いは生涯スポーツ推進員ということも併せて必要だと思います。確か、葛巻だったと思いますが、草の根対策が必要だと思います。雇用拡大に向けて、学生や20代の人たちを臨時的に採用して生かすという方法もあります。

次に、今年度市のレクリエーション協会が大東町から、町主催で高齢者になると転んで骨折して寝たきりになるということで、いわゆる「ころばん塾」という依頼を受けて10数回行ってきました。今年度は保健センターが各地区で行っているようですが、医療費の削減対策として、そういうことをもう少し広げていいと思っております。茨木だと思いましたが、同じような推進員という形で進めている地区もあります。高齢社会ですので、併せてそういう活動もお願いします。要望ですが、3点お願いします。

○石橋恕篤議長 3点ありましたが、いかがですか。

○佐藤加津三生涯学習課長 シニア大学の小中学生版というお話ですが、青少年健全育成という面で全市的な取り組みは広げていこうとは考えておりますが、小中学生向けの生涯学習講座は現在ございません。私からは言いにくいところもありますが、小中学生は大変忙しい状況にあるということもありますので、小中学校課やPTAの方々等のご意見を伺いながら、

先ほど申し上げましたが、生涯学習事業は年齢の下の方の取り組みが非常に少ない状況であり、これは課題と考えておりますので、そういったところも含めながらご意見として伺って、今後検討したいと思っております。

次に、生涯学習推進員というお話しでしたが、当初コミュニティ会議ごとに推進員という考え方を持っておりましたが、コミュニティ会議独自の取り組みがありまして、市がお願いするというよりはコミュニティ会議で生涯学習に取り組んでいただこうと考えております。推進員を置いているところもありますので、それを参考にして、コミュニティ会議での生涯学習を支援していきたいと考えております。

高齢者の「ころばん塾」というネーミングは面白いと思いました。シニア大学と高齢者向けの講座、生きがいを持っていただくという生涯学習の部分と福祉の部分は重なる部分がありますので、それぞれ取り組みはしておりますが、生涯学習推進計画の再編という話をいたしましたので、今のお話をどういった形で取り組んでいけるか参考とさせていただきたいと思っております。

○藤田哲司スポーツ振興課長 佐々木先生から生涯スポーツの振興について貴重なご意見をいただきましたので、それについてお話をさせていただきます。

日ごろから週1回以上スポーツに取り組んでいる市民の割合について市民アンケート結果から、先ほど47パーセントと申しましたが、年齢的には勤労世代のスポーツに取り組む割合が低いという結果で、世代間の陥没というご指摘のとおりです。

総合型地域スポーツクラブにつきましては、市の体育協会におきまして平成22年度から取り組んでいただき、現在17教室で延べ3千名の参加となっております。

そのほかに、笹間地区で24年度から1クラブが発足したところであり、地域に溶け込んだ、あるいは世代間を超えてスポーツに取り組めるような環境といたしましては、早起きマラソンやスポ少のほかにも、総合型のスポーツクラブへの強い期待感があります。

花巻市といたしましても、笹間地区で新しいSum（サム）という方々の取り組みをインターネットで紹介し、広報などを使って我々のできる範囲で宣伝しておりますし、22年度からの市体育協会の事業についてもPRしているところです。

生涯スポーツ推進員については、各行政区単位に約340名を依頼しております。スポーツ推進委員40名と生涯スポーツ推進員340名が一緒になりまして、地域でのスポーツ教室などできないかということを検討しているところです。

貴重な意見を参考にいたしまして、これから頑張っていきたいと思います。

○石橋恕篤議長 佐々木委員よろしいですか。どうぞ。

○佐々木繁夫委員 他県の例ですが、子ども市民大学というのは夏休みとか冬休み等で、市がバスを借り上げたり、市内の観光ボランティアや歴史家を呼んだり、市の行政について優しく伝えたりする、従来の花巻市民に向けた講座の子ども版ということでした。

市内では、若いけども素晴らしい人が多いです。例えば、大学卒で仕事にまだ就けないという方にも、雇用の拡大と言うには大袈裟ですが、生涯学習推進員や生涯スポーツ推進員という形での暫定的な雇用の方法もあるのではないかと考えています。もし、立派な人がいたら市で本採用にお願いしたいです。

○石橋恕篤議長 要望でよろしいですね。

ほかに質問はございませんか。千葉緑委員。

○千葉緑委員 子どもたちは忙しいようだとのことですが、根本的に何が忙しいのでしょうか。私は、この予算と比例してスポーツに市も厚いようですし、家庭も熱いような気がします。吉村作治さんが来るのであれば、もっと学校を通して行ってみようという誘いをかける。賢治の世界セミナーも学校行事と抱き合わせて20代から50代の親にも見てもらって、子どもが見ているものもいいものであれば、そこの分野を伸ばしてほしいです。

実際にこういう企画をしても、その世代だけで来るのは難しいですが、親子そろってという機会をもっと増やせば、私であれば見に行きたいと思います。

私の子どもは小学校4年生で、スポーツ少年団には加入させていません。見えない分野で頭脳を使っているという部分を提供していただいて、子どもの持っている才能を伸ばすという企画、親子で一緒にやることで、親も参加できて、子どものことを知る機会になると思います。親と子が離れ離れになっているような気がしますので、親にも子どもにも興味を持ってもらえるように、そういう企画を取り上げてほしいと思います。

○石橋恕篤議長 企画に対する要望でした。そのような点もご配慮いただき、反映させていただきたいと思います。

ほかにご質問ありませんか。千葉恵子委員。

○千葉恵子委員 24年度の事業で、青少年海外派遣研修事業は実施となるために予算がついたと思いますが、予算額が他の事業と比べてすごく多いのですが、中学生の派遣人数が36名と聞きましたが、この36名のためにこの予算を全部使うのでしょうか。

私事で申し訳ありませんが、昨年ホットスプリングスに友好都市交流として、正式ではありませんでしたが、予算はつかず自費で行って来ました。それでも、向こうに行けば市ぐるみで歓迎していただけるし、まちの中を歩いても花巻市の友好団が来ていますよと電光掲示板に表示されて、ちゃんと交流しなければならないと思いました。

青少年だけではなく、一般の方にも予算をつけていただければ、より充実した事業になるのではないのでしょうか。

○石橋恕篤議長 どうぞ。

○藤原睦国際交流室次長 この1,540万円につきましては、青少年海外派遣研修事業を含む姉妹都市等との交流、つまり受け入れの部分ですとか、協会に対し姉妹都市交流に絡む部分での補助金として市が交付している額になります。この中で、団体助成という形で、千葉委員が参加された部分につきましても、3団体にそれぞれ10万円ずつ補助したところです。

青少年海外派遣につきましては、全額補助ではなく、協会で旅費の3分の2を補助して、3分の1はそれぞれ家庭で負担するということです。

受け入れは、昨年度は東日本大震災の関係で9月にホットスプリングス市の市民訪問団と青少年が来られたのみでしたが、今年度は今もクリントンの方が来ておりますし、先週はホットスプリングス市の教員の方々が来られました。4月にはラットランドの研修生が来ましたし、7月には今年度の分のラットランドの研修生が、9月にはホットスプリングス市の市民訪問団、10月にはベルンドルフの青少年、大連の小中学生の訪問など今年は目白押しとなっています。

派遣のみならず、受け入れでも使いますし、お話がありました一般の方々への助成という部分でも協会で団体助成という形で行っています。協会事業ですが、今後事業の拡充について検討するように計りたいと思います。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

ほかに。はい、どうぞ

○紺野佳子委員 花巻市の生涯学習振興計画を見たときに、3ページに基本目標があります。個人を高める学習の一方でまちを高める学習という側面があると書いてありますが、非常に大事なことだと思いました。具体的な事業をたくさん紹介していただいております、その事業の中で自らを高めた方々がまちを高めるほうへ力を発揮していただいているだろうと想像しています。

振興計画の4ページの施策の体系も大変わかりやすく、色々な施策を考えるときに、こういう構造を自分の中にイメージすると説明が分かりやすかったです。

その中で、生涯学習振興の理念というところに、生涯にわたって学習できる環境づくりとありまして、大変たくさんの事業の中で取り組まれているように思いましたが、学習した成果が生かされる社会の実現となった時に、市ではどんな社会をイメージしているのかなと考えながらお聞きしました。

生かされる社会の実現を目指すとして、生涯学習については、ずいぶん市民の中に浸透していると思いました。色々な方から生涯学習という言葉をよく聞くようになりましたし、私は学んでいますよという話を聞くようになりました。

計画の16ページに市民による生涯学習推進体制の充実がありますが、これが市民による学んだことを生かした社会になると捉えました。

各振興センターの中に生涯学習推進員を置いてという話を先ほどお聞きしましたので、ぜひそこを充実させていただきたいと思います。市民は振興センターに対して親しみを持っているようです。気軽にそこに行って何かをしようという気持ちになるところだという感じを受けていますので、ぜひその中で生涯学習が推進されるような体制が作られれば、市民による生涯学習が進むのではないかと思います。市民も一人ひとりが私のやっていることが、まちづくりに生きていると実感できるようなまちになればいいと思っています。意見です。

○石橋恕篤議長 意見ということですので、参考をお願いします。

どうぞ。

○伊藤晴二委員 生涯学習の充実の中で、学習資源調査に基づくまなびのガイドブックの作製ですが、確か2年ぐらい前に提案されまして、私もこれは大変素晴らしいことだと思いました。これができる子どもたちにも資料になるし、教える側の教師の資料にもなるし、一般市民にも広く伝わるということで、いつできるのかと思っていました。現状はどうなっているのかと、今後の見通しをお願いします。

昨年、花巻検定がありました。私も高村光太郎の時に興味があって行ってみましたが、賢治だけではなくたくさんの資源や文化財があるわけですから、広く花巻市民が知る、学ぶという機会は素晴らしいことだと思いました。しかし、検定の結果、合格が1名だと聞いてちょっとショックでした。これは生涯学習の分野ではなく観光協会だと思いますが、検定を受けるということは花巻を訪れた人に対して自分がボランティアでガイドをしたいということ

だと思います。新聞で合格者が1人だとして、来年どうなるのか心配していました。私は、1級、2級という方法でもいいですから、関心がある方にはどんどん学んでもらって、たくさんの方が集まって、花巻を誇りを持って紹介するような方を育てるうえでは、先ほどの学習資源ブックを学べば合格できるというようなタイアップもできると思いますので、検討をお願いしたいと思います。

賢治まちづくり課に関して、観光客だけではなく花巻市民に対しても向けられるべきだと思います。イベントだけではなく、もっと市民が学べる場を作るべきだと思います。講演会や賢治学習講座でもいいですが、深く市民が学べる場をぜひ創設してほしいと思います。具体的には山折哲雄さんですが、実は直接お話をすることがありまして、そういう話をしたところ、それはいいことですねと、ぜひ実現できるようにと、かえって山折さんから激励されました。日本を代表する哲学者で個人とか普通の団体で呼べるような人ではないです。そういう方が花巻出身で賢治にも詳しく、宗次郎とも関係があることも研究している、そういう素晴らしい方をぜひ招待して講演していただいて、シリーズでそのようなものがあれば、賢治のまちづくりにふさわしい学びの場を市民に提供できると思いますので、強く要望します。

○小原昭男委員 関連します。

○石橋恕篤議長 どうぞ。

○小原昭男委員 花南地区のコミュニティでも賢治詩碑の周辺整備ということで事業を進めているところですが、地元の人たちが意外に近所のことを知らないです。よそから訪ねて来た方のほうが賢治について詳しくて、説明のしようがないことがあります。

ただ、そればかりではなく賢治の隠れた部分と言うか、実際に体で感じている、人柄とかこういうことをやった人だと分かっている人が、桜町の周辺に結構居るんですが、それがだんだん薄れてくるような時代の経過です。

それを掘り起こして、よそから来る人たちの知らない部分も教えることができれば、喜ぶのではないかと思います。掘り起こして皆さんに伝えることも賢治を学ぶ一端として必要ではないかと思っています。これは意見です。

○石橋恕篤議長 先ほどの伊藤委員の質問についてお願いします。

○佐藤加津三生涯学習課長 ガイドブックにつきましては、現在取りまとめている最中です。8月中には出そうと考えています。

賢治のまちづくり関係ですが、はなまき賢治セミナーを予定しておりまして、市民70人を対象として8回コースで広報の7月1日号に募集の案内を載せる予定としております。

○石橋恕篤議長 よろしいですか。

では、門馬委員。

○門馬優子委員 ぜひ内容のある賢治さんを取り上げていただきたいというのは同意見です。

先ほどの説明の中にキャラクターなども考えているとのことでしたが、安易にキャラクター化しないでいただきたいというのが切実な思いです。各地で何かというと子どもたちにも大人気のかわいらしいキャラクターがすぐ登場しますが、ちょっとそれとは違うと思います。何もキャラクター化する必要は無いとあえて申し上げます。色々な意味で慎重にさせていただきたいと切実に思っています。

意見ですが、男女共同参画のことです。この計画書の中には出ていませんが、平成19年

度の計画の中の男女共同参画の推進にDV防止について考えるセミナーが毎年開催されていますが、案内の対象が各種相談員と民生委員さんたちの比較的年齢の高い人たちになっています。事が起きてからの相談体制の充実もちろん大切ですが、未然に防ぐと言うか、そういう事が起こらないための勉強は、むしろ若い世代に対しての周知が必要だと思います。DVセミナーはとても内容のあるセミナーですので、できれば学校関係の教員とかPTA関係者とか、これからの若い世代に関わりのある方たちにぜひ聞いていただきたいと思っています。ここは一方的な話を聞くだけではなく、ワークショップ形式にして計画されているというのは大いに賛成ですので、推進していただきたいと思っています。

○石橋恕篤議長 委員の皆さんから色々と質問、意見、要望がありますが時間的にはずいぶん超過しています。

ぜひともという方はいらっしゃいますか。

花巻市からの補助金交付団体一覧も併せてお願いします。

どうぞ。

○千葉緑委員 補助金の関係で、7番の市内自治公民館への補助金が今年25館あるので、1,200万円ということですが、9番の花巻市体育協会について、1団体に2千万円ぐらい補助金をつけるというのは毎年のことですか。それとも、今年に限ってのことですか。

○藤田哲司スポーツ振興課長 市体育協会は、先ほど説明いたしましたとおり、総合型のスポーツクラブを行うための助成金とか、市のスポーツ活動の中で市が直接運営しない部分、いわゆる選手育成の部分や講師養成、派遣の部分がありますので、毎年大体このぐらいの予算をお認めいただいて、活動していただいています。

○石橋恕篤議長 千葉委員、よろしいですか。

どうぞ。

○赤沼範高委員 補助金に関してですが、申請書類も一切なく、金額だけでいいか悪いか判断しろということなのでしょうか。

○石橋恕篤議長 赤沼委員の質問ですが。

○佐藤加津三生涯学習課長 補助金につきましては、それぞれ予算化した金額を掲載しておりまして、それぞれの事業に対して100パーセントということではなく、それぞれの活動に対して補助金を市が出しています。

決定いただくということではなく、ご意見を伺いたいということでした。ご意見があれば、いただいたご意見を踏まえて補助金を執行することになります。

○石橋恕篤議長 どうぞ。

○赤沼範高委員 申請があったから補助金を出すわけですよね。意見を言うにもどういった申請があって、だからこの額になるという根拠がないと意見の言いようがないです。備考欄にも何もありません。お金に関する部分ですので、きっちりしていただきたいと思っています。

○石橋恕篤議長 どうぞ。

○佐藤加津三生涯学習課長 大変申し訳ございません。確かに意見を言うための資料が不足していると思いますので、次回にはもっと分かりやすい資料にしたいと思います。

○石橋恕篤議長 今回はこのままですか。

○佐藤加津三生涯学習課長 概要につきましては、お送りしたいと思いますので、ご意見が

あれば、いただくという形にしたいと思います。

○石橋恕篤議長 それでは、赤沼委員の意見を参考にしていただきたいと思います。

それでは、花巻市生涯学習振興計画の進行状況について、平成24年度花巻市の生涯学習振興計画については、ご意見をいただいたということで報告したいと思います。

その他については、事務局からお願いすることとしまして、私どもの担当はこれで終わらせていただきます。

ありがとうございました。

## 5 その他

○千葉達哉生涯学習課長補佐

(事務局から報告及び連絡)

## 6 閉 会

午前11時58分 閉 会